

まつしま

議会だより

第138号

令和元年5月1日発行
宮城県松島町議会



感謝を胸に、優勝を目指す！（松島中学校サッカー一部の皆さん）

- ◇ 予算はどう使われるのか……………P 2
- ◇ 新年度予算を問う……………P 4
- ◇ 議案審議……………P 18
- ◇ 8人の議員が熱弁（一般質問）……………P 21
- ◇ 町民の声……………P 32

平成31年
第1回 定例会

[3月1日～3月18日]

平成
31年度

平成のその先の時代へ

予算総額 167億9921万円

原案通り可決！

予
算

平成31年第1回定例会が、平成31年3月1日から3月18日までの会期で開催された。初日には、櫻井町長から新年度における施政方針が表明された。

新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で慎重に審査され、平成31年度松島町一般会計予算他すべての当初予算を原案のとおり可決した。

また、その他提案された内容は、議案16件（条例の一部改正、平成30年度各種会計補正予算）、議員提案1件。

審議の結果、すべて原案のとおり可決した。

一般質問は、8人の議員が各々の視点から町政について質問した。

施政方針

「集い、学び、働き、笑顔あふれる

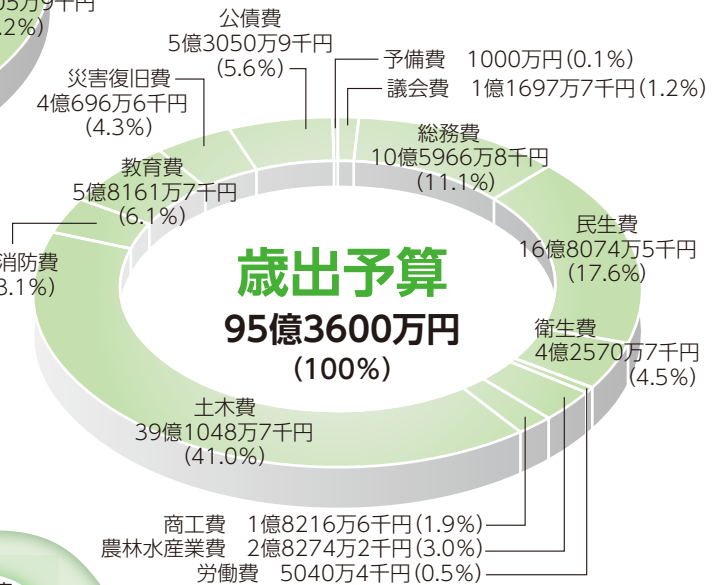
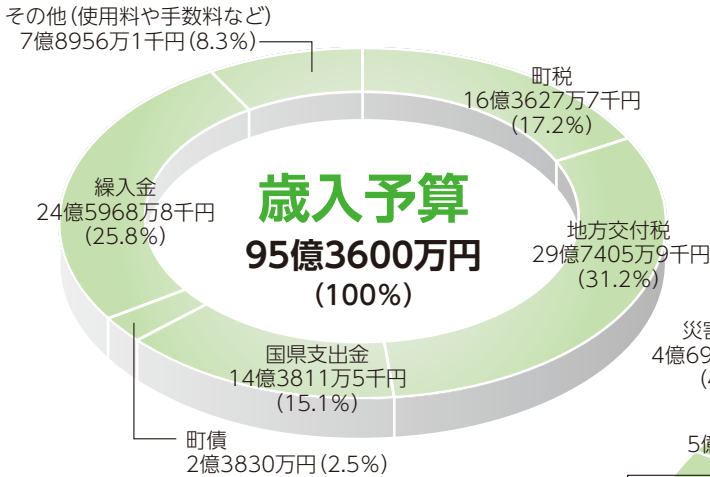
美しいまち「松島」の実現

櫻井公一町長は、平成31年第1回議会定例会開会にあたり、町政運営の所信と施策の概要として「震災復興の総仕上げ」「人口減少等の課題解決の取組強化」「持続可能な発展」を遂げるためにも「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち松島」の実現を目指し、「活力ある新しい松島」の創造に向け、気概と責任を持って取り組み、より一層の町の発展、町民の幸せを追求すべく、「一以貫之（いちをもちつらぬく）」の精神で町政運営に努めていく」と語った。



施政方針を表明する櫻井公一町長

平成31年度 一般会計95億3600万円



※構成比の数値は、四捨五入しているため、計の数値と合わない場合があります。

予算

町民一人あたりの支出予算額

67万7610円

平成31年3月末人口1万4073人による試算

予備費
711円

公債費
3万7697円

民生費
11万9430円

議会費
8312円

災害復旧費
2万8918円

労働費
3582円

総務費
7万5298円

教育費
4万1329円

土木費
27万7872円

衛生費
3万250円

消防費
2万1176円

商工費
1万2944円

農林水産業費
2万91円

平成31年度の各種会計予算

会計名	平成31年度	平成30年度	前年度当初比	
一般会計	95億3600万円	94億3200万円	1.1%	
特別会計	国民健康保険	17億8975万2千円	18億1100万7千円	▲1.2%
	後期高齢者医療	1億9996万8千円	2億700万2千円	▲3.4%
	介護保険	18億1270万6千円	17億3045万6千円	4.8%
	介護サービス事業	891万2千円	964万7千円	▲7.6%
	観瀾亭等	8921万1千円	1億607万1千円	▲15.9%
	松島区外区有財産	529万4千円	206万9千円	155.9%
	下水道事業	19億7636万2千円	26億8397万4千円	▲26.4%
水道事業会計	13億8101万円	10億9925万2千円	25.6%	
合計	167億9921万5千円	170億8147万8千円	▲1.7%	

新年度予算を問う

総括 質疑

総括質疑とは？

新年度予算に対する質疑で、詳細な審査は委員会において行われるため、大綱（根本的なもの）について質疑を行うものです。



平成最後の定例会

総括質疑

認定こども園の開設

問 認定こども園設置の方針だが、それまでの幼児教育の考え方は。

町長 建設審議委員会立ち上げ前の準備委員会設置を進めている。

副町長 準備委員会では、こども園の基本方針や規模などの検討材料を集約している。

教育長 幼稚園教諭、保育所保育士と一緒に指導力向上に当たれば、幼稚園と保育所の教育が同等に行える。

問 写真投稿がメインであるインスタグラムの活用を図ることだが。

町長 多方面に広い情報が一度に拡散出来る。看板等風景に邪魔にならないものを考えていきたい。

問 本庁舎建設に関する考えは。

町長 3月議会終了後、地権者と意見交換をする。

平成31年度には方向づけをする。



杉原 崇
議員

魅力あるまちづくりを

問 有志による映画祭開催など、魅力あるまちづくりにつながる民間の頑張りについて、どう考えているか。

町長 リブランディング事業に関わってくれた人たちが、今でも友好関係を持ち、映画祭などに繋がっている。その成果で人の流れの繋がりが出来て、起業される方が増えている。

問 創業支援のあり方、取り組みは。

町長 起業をしたい方には、企画調整課を通して起業の支援を行いたい。良い意味でいろんな刺激があつて、町内の世代交代も期待する。

1次産業の後継者育成は

問 1次産業の後継者育成に繋がる、収益力向上についての考えは。

町長 生産者と事業者による商談会を開催し、今後に繋げていきたい。漁業はカキの生産性の向上やカキ棚で使った竹の産廃など、漁協の意見等も聞きながら、今後町としての対応を考えていきたい。



高橋 幸彦
議員

保育所・幼稚園の再編

問 認定こども園の運営は社会福祉協議会になるのか。

副町長 準備委員会という段階であり、最終的に判断するのは別の委員会である。

問 10月1日から消費税が上がるなかでの、町の財政見通しはどうか。

町長 使用料に係る消費税の考え方は、国・県の動向を注視し、今後検討していく。

町の規模の割に公共施設が多く、維持管理費がどんどん膨らんでいく中、町を活性化するうえで、事業の整合性を取りながら、統合・縮小も含めて、スクラップアンドビルドを徹底していく。

問 復興事業が計画どおりに完了しない場合の交付金等はどうなるのか。

副町長 残事業の分について、今後の復興庁の問題、今まで同様の対応が出来る窓口等を、県知事と共に要望している。返すということよりも、まず終わらせることが大事である。

問 松島海岸駅のバリアフリー化は計画どおりに進むのか。

町長 JRの工事は営業しながらであり、長引くことが予想される。6月までにもう一度話し合う。

問 防災行政無線の整備費が増額となっているが。

町長 個別受信機の配布と登録制のメーリングサービスを拡大させたい。

危機管理監 松島海岸中央広場、三ッ所刈駐車場、高城鈴憲商店付近の3ヶ所に屋外拡声子局を設置する。

問 保育所の給食はどうなるのか。

町民福祉課長 献立作成、栄養管理、給食調理、食器の洗浄などを業務委託する。

他に、松くい虫防除事業、高齢者福祉計画第8期介護保険事業計画策定、観瀾亭等の利活用（指定管理者）について質問。

消費税増税に対する考えは

問 今年度予算は消費税増税が前提になる。増税すべきでないと考えるが、町長の考えは。

町長 2%上がる中でどんな還元があるか、幼児教育の無償化や社会保障など内容を把握し進めたい。

問 消費税増税では、食品品の税率据え置きやキャッシュレス決済など複雑だが、町の支援策は。

町長 キャッシュレス化が進むと思うが、商店では利益がなくなると聞いており、機器の導入など商工会と共に検討したい。

地域防災計画の見直し、原発再稼働は

問 地域防災計画の見直しについて、現計画との相違点は。

副町長 ガイドラインの変更で避難確保の計画や避難訓練が義務化される。また、原子力災害時の避難者の受け入れ、想定外の事態への対応などが新たに入る。このほかダム・ため池・高潮・倒木等への対応も取り込みたい。



今野 章
議員

問 本町は緊急防護措置区域に近接する町だが、女川原発再稼働に対する町長の考えは。

町長 再稼働に関しては、町民や議会の意見、考えを十二分に吸い上げ判断したい。

問 国の2次補正予算で「防災・減災国土強靱化のための3カ年緊急対策」がある。町の土砂災害危険区域や急傾斜地への対策は。

副町長 今年度予算への反映はないが、地域防災計画に取り込みたい。

保育所の入所希望・待機児童、学区の再編は

問 保育所の入所希望と待機児童の現状。また待機児童対策と保育無償化に伴う入所希望増への対応策はどうか。

町民福祉課長 入所希望は208名で待機児が10名である。保育所は、正職が20名、臨職25名、派遣業務委託5名で運営したい。待機児は、保育施設の面積不足で対応できず、認定こども園の整備を進めたい。

問 30年度中に学区割を検討したいとしたいが、どう検討されたのか。

教育長 総合教育会議で小中一貫教育や学区について話し合っている。各学校の適正規模を考慮し、学区の見直しもひとつの方法として検討し、小規模特認校制度や英語、理科などの時間を増やす特区の活用など、保育所の認定こども園化等へ向けて、一緒に考えていきたい。



菅野良雄
議員

財政構造の弾力化は

問 毎年度、厳しい財政状況を示している。町長は、財政構造の弾力性をどう捉えて、予算を編成したのか。

町長 歳出の考え方を再三再四、担当とヒアリングしている。まず職員の内員管理をきちんとやる。公債費の抑制、膨れ上がる施設維持管理の抑制、そのような中で、予算を組んでいる。

問 経費削減を考えるには、職員が理解しながら財政改革に取り組む必要がある。町長は職員の意識をどのように受けとめているのか。

町長 常に話しはしている。全職員とは言えないが行き渡っていると思う。

企業誘致の意欲は

問 新年度における企業誘致の意欲について伺う。

町長 企業誘致のパンフレットに示しているとおりである。

問 指導員制度で部活の延長は出来ないのか。

教育次長 スポーツ庁からジュニア期におけるスポーツ活動時間について示されており、町もそれに従っている。

栄養分を満たせるのか

問 学校給食の栄養分が満たされていないということが問題になっている。新年度は値上げせず充足出来るのか。

教育長 著しく栄養が足りていないという事はない。給食費の値上げは行わない方針である。

問 消費税アップで幼児教育・保育料が無償化になる。だが保育所の給食費は無償化の対象外、本町の対応は。

町民福祉課長 有料の方向で検討している。

待機児童対策は

問 臨時保育士の採用が難しいというが、待機児童が出るということか。

町民福祉課長 そのとおりである。

問 「松島生活させ隊事業」の買い物弱者支援は、効果が薄いのでは。

健康長寿課長 それだけで効果が上がるとは全く思っていない。住民の方に周知するよう努める。



赤間幸夫
議員

町民の声が反映した予算とは

問 昨年、各行政区との行政懇談を実施したが、区民代表者の声をどのように受けとめ、予算編成をされたのか。

町長 財政が厳しい話しをした。地域の要望は全て取り上げられないこと、町施設の統合等をやるとい話しも行政区には伝えた。そういった中で予算編成であり、各行政区最低限ひとつの要望を入れた予算である。

問 今後一年、行政運営での行政改革推進を、前年度の事務事業評価のもとに目標を掲げて進まなければならぬと考えるが、町の取り組み姿勢は。

副町長 平成30年度の事業評価を受けて平成31年度の予算に反映されたか、細かい検証はしていない。

基本的な考えとして事務執行の中で、成果を踏まえながら継続して行政改革をやる。

具体的な取り組み姿勢は

問 下水道と道路、公共交通（町民の足としてのバス運行など）施策などへの取り組みは。

水道事業所長 汚水管整備は、震災で中断していたが、今年度予算で途切れた部分から順次設計作業を進め、初原地区のケースでは、下流側から順次設計を行い、工事を実施して行く。

問 事故多発路線である県道仙台松島線（利府街道）の交通安全対策としての道路拡幅整備に対し、町から県知事や土木事務所への要望、実現の見通しは、どのような状況か。

建設課長 町長が、年末年始の挨拶時に知事や土木部長に直接要望しているが、今のところ県として仙台松島線等の改良を実施する考えはない。

問 デマンド型運行による実証実験の成果をどう捉えているのか。北部だけではなく「初原・桜渡戸地区」や町民バス運行とJR線との連携が悪い地区も含め、今後の取り組みはどのように考えているのか。

町長 12月まで行った実証実験の結果を3月末までまとめ、議会に示したい。今後の取り組みはそこから考える。



片山正弘
議員

町の財産貸付について

問 歳入が多く望めない厳しい状況だと町長の施政方針で述べられているが、これまでも決算では、町の貴重な財源が不納欠損で処理されている。財産の貸付「住宅入居」等の契約に伴う連帯保証人についての確認や責任の重さを十分に説明すべきであり、その対応策は。

副町長 町営住宅の契約は、以前は保証人、現在は連帯保証人である。基本的に、納税者であり滞納者でない方は。 **建設課長** 現在も滞納している方はいる。

副町長 滞納者については、本人の支払い能力などの状況調査が一番大事である。保証人に行く場合は段取りを踏んでから行っている。今後は連帯保証人の確認をすべきと思う。

教育施設の管理基準について

問 学校の遊具や固定施設等の設置基準があると思うが、管理基準はあるのか、また、安全の判断は誰がしているのか。松島第一小学校屋外バツクネットは固定金具の錆が著しく、危険ではないのか。事故が起きてからでは遅い。町長は、未来の子供のために充実すると述べているが、教育委員会・町当局も調査し検討すべきと思うが。

教育長 管理基準は特にない。購入の際にJAS規格の物を設置している。月一回確実に点検し、不備があれば修繕している。安全だとの判断は基本的には先生方が行っている。また、専門家に最後に見てもらおう。

副町長 法的には一年間で定期点検する事と示されている。確認に基づき安全対策に努めている。

町長 確認して早急な対応をしたい。

町道整備について

問 市街化区域内町道未舗装についての優先順位は。

町長 町道の未舗装については、建設課ですべて資料を整理している。その中から優先順位をつけ進めている。

建設課長 町道全ての舗装は考えていない。生活に必要な所の舗装を実施したい。また、要望箇所については優先順位を整理し各行政区と話し合いを実施したい。



色川晴夫
議員

人口減少対策は

問 施政方針で「人口減少などの課題解決に向け、一層強化」としている。人口減少に歯止めがかからない状況の中、農・漁業者の後継者不足が深刻の度合いを増している。改めてその対策は。

町長 少子化問題は全国的な流れである。定住補助金等を活用してPRしていく。また、一次産業後継者については、一体化して取り組んでいく。

問 地域おこし協力隊で前向きな答弁あったが。

町長 町おこしを考えれば必要である。来年度予算に反映するよう検討する。

企業誘致の取り組みは

問 昨年東京で企業誘致に関しPRしたが反応は。

企画調整課長 3回目となり、関係者から企業を紹介されるようになった。今後は、具体的に用地まで示すような取り組みをしていく。

税收违法を巡る方策を

問 「生産年齢人口の減少で増収は期待されなく、一層効率的かつ効果的な財政運営に努める」としている。そこで、一つの方策として、全ての宿泊施設に温泉を導入するための施策を行い、増収を図るべきだと思うが。

町長 どこに行っても松島の温泉をPRしている。町内全ホテルが温泉であれば良いが難しい。今検討しているホテルが一ヶ所ある。

国道45号歩道整備状況は

問 「国道45号歩道整備で松島駅までの早期完成を図る」としているが、現状はどうなっているのか。

建設課長 歴史館から松一小間の一ヶ所で、移転補償物件の交渉を国交省と地権者と協議する予定である。松島駅までの区間は、移転補償と同時進行を進めてほしいむねをお願いしている。

文化財を放火・災害から守るには

問 瑞巖寺平成大改修が終わったが、万一火災になれば、1ヶ寺に済まないことが危惧される。大切な文化財を守るために、町が中心となり対策を検討しては。

教育長 各寺で防災計画を策定すべきである。瑞巖寺を含む4ヶ寺の防災については、教育委員会で個々に聴取していく。

第1分科会 第1分科会が審査する課

議会事務局／会計課／総務課／選挙管理委員会／企画調整課／財務課(松島区外
区有財産特別会計含)／産業観光課(観瀾亭等特別会計含)

企 画 調 整

主なつかいみち

広報広聴費	656万円	(▲576万円)
企画費	1億9507万円	(1億4496万円)
電子計算費	8219万円	(1768万円)
復興推進費	1400万円	(▲17万円)

問 JR松島海岸駅のバリアフリー化事業のスケジュールと内容は。
企画調整課長 事業主体であるJRが行っている実施設計が平成31年3月で終わって、新年度早々JRから国へ補助申請を行ない、6月には交付決定となる見通しで、7月には工事が着工される予定である。
まず、駅前広場に2階建ての仮駅舎を建設し、既存の駅舎を解体、仮設通路で既存の階段でホームに至るようにする。
次に、海側の線路前下の諸施設を解体し、跡地にホーム1基と階段を新設する。また、駅舎も新しく建設し、中

松島海岸駅の改修について

にトイレも入る。そして、両ホームには1基づつエレベーターを新設する。海側の新ホームは上り専用、既存のホームは下り専用となる。予定工期は平成32年度末までの2カ年である。

問 事業費の総額は、概算で18億円とのことであるが、町負担はその6分1で済むのか。
企画調整課長 国庫補助対象外の事業もあり、現在のところ町負担は、3億5千万円を見込んでいる(設計費については平成30年度に全1億2千万円の6分の1の2千万円を支出済み)。



松島海岸駅舎



職員のストレスチェックを実施

総務・環境防災

主なつかいみち

一般管理費	2億5976万円	(▲784万円)
塵芥処理費	1億9005万円	(1590万円)
し尿処理費	5835万円	(267万円)
非常備消防費	4369万円	(▲1711万円)

※()内は前年度対比

町職員の健康管理は

問 有事災害等での職員へのストレスケアを取り組みとして行っている自治体もあるが、その取り組みを職員内で話し合う機会はあるのか。
総務課長 今年度より、毎月、衛生委員会を開催しており、ストレスやハラスメントについて、保健師や職員組合等を交えて話し合いを行っている。ストレスチェックについても、希望者には産業医の面談を設定している。

問 人間ドックについて前年度の結果などを見ると、異常なしの職員数が極めて少ないが、何か対策は行っているのか。
総務課長 診断結果で要観察等の職員については、医師の診察を受けるように指導している。その中で、診察を受けた際に数値的にも問題がないと診断されるケースが多い。視力等の項目で異常が出ているケースもある。

予算審議

産業観光

主なつかいみち

農業振興費	1782万円	(14万円)
林業振興費	3843万円	(▲309万円)
水産振興費	380万円	(13万円)
商工業振興費	5614万円	(▲614万円)
観光振興費	6728万円	(▲92万円)

問 沢乙のため池のフェンス工事について、設置工事の場所はどこなのか、これは農業用ため池なのか、**産業観光課長** 農業用ため池である。ため池の場所は根廻の後側で根廻と幡谷の境である。

問 ため池の管理に非常に困っていると聞いている。管理はどの様になされているのか。**産業観光課長** 管理は土地改良区、所管は建設課である。ため池の滑落防止対策として建設課がフェンスを設置している。

ため池が壊れた場合は、建設課、産業観光課で情報共有し、予算関係は建設課になるが、財源等を産業観光課で

ため池の適正管理を

確認、調整していく。

問 JR松島海岸駅のバリアフリー化工事に伴い、駅前の観光関係の案内所が解体されて無くなってしまっが。**産業観光課長** 移転・撤退等については、各案内所に、同意の上、対応をまかせている。

問 新駅舎ができるまで案内所が無いとすると、観光客に影響が出るのでは。**産業観光課長** 当面の観光案内所の設置については、目下検討中である。将来の設置場所については、観光協会とも協議の上、候補地をしばっていかなければならぬ。



ため池



役場庁舎

財務・財政

主なつかいみち

財政管理費	86万円	(▲1万円)
財産管理費	1億116万円	(▲426万円)
賦課徴収費	4880万円	(767万円)

問 役場庁舎の土地について、借地の契約期間は。**財務課長** また、庁舎建設基金の毎年の積立額は5千万円だが、それで間に合うのか。

財務課長 借地契約は平成25年3月8日から平成35年3月31日までである。新庁舎建設費や土地の買収費、また、移転費用等のための最低の原資として、5億円を見込んでいるので、借地期間の間に積み立てたい。

問 入札監視委員会ではどの様な話をしているのか。また、PCBの処

役場庁舎の建設は

理で250万円程の計上は、高額に感じるがどうか。**財務課長** 高落札率の案件や、随意契約の案件など、工事5件、業務委託5件程度を担当課が説明し、各委員より意見をもらう形となっている。PCB処理については、旧庁舎から出てきた安定器などで、重量で金額が決まる。比重が大きく、大人が数人がかりで持ち運ぶようなものである。処理場については全国に5ヶ所ほどあり、宮城県のエリアは北海道が処理場となっている。

第2分科会 第2分科会が審査する課

町民福祉課(国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計含)／健康長寿課(介護保険特別会計・介護サービス事業特別会計含)／建設課／教育委員会／水道事業所(下水道事業特別会計・水道事業会計含)

健康・長寿・介護

主なつかいみち

老人福祉費	3億698万円	(▲806万円)
保健福祉センター管理費	4694万円	(91万円)
予防費	7239万円	(▲21万円)
母子衛生費	1252万円	(69万円)
介護保険特別会計	18億1270万円	(8225万円)

問 緊急通報システムで、年何回の通報があるのか。
健康長寿課長 固定型で11件あったが、救急搬送には至っていない。携帯型で2件の通報があり、救急搬送後帰宅している。

問 保健福祉センターの施設改修計画は。
健康長寿課長 大規模改修すると3〜4億円くらいかかる見込みであり、町では他に大きな事業計画があるので、当面は修繕で対応していく。

問 10月から消費税がアップすることに伴い、低所得者への介護保険料軽減措置を行うとあるが、2%アップ分の解消になるのか。
健康長寿課長 消費税アップ分が解消されるかはわからない。平成32年度分として1800万円軽減とかなりの額である。6月補正で対応する。

問 介護サービス事業会計は平成30年度補正で200万円以上減額している。平成31年度では減額していない理由は。
健康長寿課長 予防給付と総合事業は複雑で見込みが立てにくかったためである。



磯崎保育所

町民サービス・福祉

主なつかいみち

障害者福祉費	3億228万円	(▲80万円)
住民基本台帳費	3547万円	(1万円)
保育所費	2億5428万円	(5063万円)
子ども医療対策費	4763万円	(8万円)
国民健康保険・保険給付費	12億8688万円	(▲1588万円)

予算審議

保育所(認定こども園)の場所選定を早急に

問 10月から、プレミアムポイント制が導入されるが、町の対応は。
町民福祉課長 現時点では、やらない考えである。

問 新元号と10連休での窓口対応は。
町民福祉課長 戸籍の届出に関しては、警備員が24時間対応する。また、婚姻届については、事前に書類を確認し休日に提出できるようにする。

問 希望園の施設は古く、今後立て直しの考えは。
町民福祉課長 検討はしている。場所をどこにするか、また、障害のない子ども達と一緒に良いのか、個別に対応するの

問 10月から消費税がアップすることに伴い、低所得者への介護保険料軽減措置を行うとあるが、2%アップ分の解消になるのか。
健康長寿課長 消費税アップ分が解消されるかはわからない。平成32年度分として1800万円軽減とかなりの額である。6月補正で対応する。

問 10月から幼児教育費が無償化となる。国では給食費は実費負担だが町の考えは。
町民福祉課長 国の実費徴収と合わせて町も徴収する。幼稚園とバランスをとっていく。

問 保育所(認定こども園)について、準備委員会が社協含め2ヶ所にするか、または、1ヶ所にするということだが、早く場所を選定しなければ33年の開所に間に合わない。
町民福祉課長 30年度で場所と規模の素案を出し、31年5月までに運営委員会決定したい。

か検討中である。

建設・土木

主なつかいみち

道路維持費	6793万円	(1846万円)
道路新設改良費	10億4620万円	(1億2855万円)
街路事業費	14億5838万円	(5億8646万円)
避難施設管理費	2249万円	(▲57万円)
公園管理費	5934万円	(▲60万円)



松島中学校

教育・文化

主なつかいみち

幼稚園費	9076万円	(940万円)
小学校管理費	5443万円	(▲216万円)
中学校管理費	2999万円	(430万円)
公民館費	2040万円	(242万円)

下水道・水道事業

主なつかいみち

下水道事業特別会計	19億7636万円	(▲7億761万円)
水道事業会計	13億8101万円	(2億8176万円)

不登校児童の解消と幼稚園の今後のあり方

問 登校意欲はあるが登校できない児童がいる。学校側の環境づくりとして、小さい頃から道徳教育に力を入れ、登校しやすい環境をつくれな
いか。

教育長 学校だけで考えるのではなく、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用や連絡協議会を設置し複数で情報共有し見守りを行い、不登校問題に取り組みでいきたい。

問 スマホや携帯の学校持ち込みに
ついでへの考えは。

教育長 文科省の考え方が、持ち込み許可の考え方になってきている。そうなれば松島町でも許可せざるを得ない。ただし、使用については厳しい制約を設けなければならないと考えている。

問 幼稚園の今後のあり方について伺う。

教育長 認定こども園の建設準備委員会を設置し検討を行っている。考えの中には幼稚園の統廃合も視野に入れている。

下水路の安全対策と古くなった水道管の更新は

問 水路に蓋をかけて通路にしている場所とそうでないところがある。統一性はどうか。

水道事業所長 基本的には車を通れなくして歩道としての使い方をしている。全てを蓋がかりで整備するには多額の費用を要するため、現場の状況を確認しながら進めていきたい。

問 毎年漏水が発生している。水道管の更新は、どうなっているのか。

水道事業所長 震災時、特に漏水が生じたのは古いV P管、旧塩ビ管である。基本的には昭和40年代後半

から昭和50年代布設の古いV P管から更新していく。



水道管布設工事

特別委員会からの意見・要望



予算審査特別委員会 澁谷秀夫委員長

に情報発信してもらえよう、働きかけを望む。

ため池の適正管理を

ため池は農業用水の確保や、大雨時の一般的な貯水機能を持った重要な施設である。しかしながら、近年は高齢化や後継者不足から、ため池の管理が十分にできない状況であるため、土地改良区や水利組合等と連携し情報の共有化を図り、適正な管理がされるよう望む。

観光案内所の設置を

JR松島海岸駅のバリアフリー化に伴う観光案内等施設解体工事に係る補助金が計上されているが、今年のラグビーワールドカップや来年の東京オリンピック・同パラリンピックの開催を控え、外国人観光客の増も見込まれることから、観光客の案内等に特に力を入れるべきで、観光関係団体と連携し、施設等を含めた早急な対応を望む。



松島海岸駅前

定住促進について情報発信を

定住促進に係る補助金である「復興支援定住促進事業補助金」及び「津波被災住宅再建支援事業補助金」制度について、町内のみならず、町外居住者の制度利用を促進するため、更なる周知を図りたい。また、松島町に移住された方から、「松島の良さ」をホームページやSNS等で内外

町民バスの運行について

デマンドバスの実証実験の検証結果等を踏まえ、今後の町民バス運行のあり方を的確かつ早急に整理するとともに、「交通弱者」の足の確保を考慮したバス運行に取り組ま



実証実験を行ったデマンドバス

水道料金の格差是正を

地下水のくみ上げなどの歴史的経緯により水道料金に格差がある。時も経ち、考え方も変化していることから、地域住民の不公平感を解消するため、話し合いの場を持ち、是正する取り組みをするよう努められたい。

予算審査特別委員会を開き、第1分科会(総務経済常任委員会)、第2分科会(教育民生常任委員会)に分かれて、平成31年度一般会計予算と特別会計予算、水道事業会計予算について、6日間の審査を行った。

その結果、以下の意見・要望等を集約して、町長に提出した。

雨水路の整備を

元釜家地内雨水路と道路を一体的に整備を行い、歩行者の安全確保を図りたい。

希望園について

希望園の建物が築40年を経過し老朽化が激しい。保育所、幼稚園の再編計画とあわせて今後の在り方について検討することを望む。

認定こども園について

幼稚園・保育所から認定こども園へ平成33年春を目標に移行する計画であるが、時間的余裕がないことから、早急に方針を固め、建設予定地を選定するべきである。また、その方針が決まり次第、議会に速やかに報告することを強く望む。



希望園

不登校児の解消を

本町では、不登校児が年々増加傾向にある。いじめや虐待など様々な要因が想定されるので、学関係者は地域や保護者などと密に連携し、不登校児の解消に努められたい。

ブロック塀危険箇所の調査を

当町職員の目視によるブロック塀危険箇所の調査は行われているが、昨年大阪で発生した死亡事故のようなことが起こらぬよう、スクールゾーンに限らず、専門家による全戸のブロック塀危険箇所の調査を行うよう強く望む。

児童公園の整備を

児童公園の利用が少なくなっている。公園内に健康遊具を整備し、町民の健康増進と公園利用を促し、大人と子どもがふれあうことのできるコミユニケーションの場となるよう整備することを望む。



白萩児童公園



高城保育所

防犯カメラの設置を

防犯対策の観点から公共施設に防犯カメラを設置することを望む。特に子どもたちが集まる施設については優先して設置するよう望む。

反対

今野 章 議員

賛成

高橋 幸彦 議員

新年度は、松島海岸駅バリアフリー化、水族館跡地への施設建設などが進む。また、品井沼駅周辺の土地利用計画の前進。高齢者福祉では紙おむつ助成拡大。教育では不登校児童の相談体制の充実など評価するが、国は、地方に「公的サービスの産業化」路線を押し付けるなど、歪められた地方財政計画のもとでの予算編成には賛成できない。特に町民生活に直接影響を及ぼす10月の消費税増税では、上・下水道使用料への消費税転嫁が決まるなど賛成できない。増税は社会保障のためなどではなく、町は増税中止を求めべきだ。また、児童館の民間委託や安心・安全の保育を実現するうえでの問題、災害公営住宅の家賃減免終了などのほか、後継者不足が深刻な一次産業への支援強化が必要だが、農林水産振興費の総額は約2386万円と極めて少なく、これでは振興を図ることは出来ない。

平成31年度の当初予算は、平成30年度に比べて金額で1億400万円、率にして1・1%の増となっている。本町の財政状況は地方針で示されているとおり、生産年齢人口の減少や地価の下落等により、町税の増収は期待できない中、扶助費等の義務的経費に加え、復興事業で建設した避難施設の維持管理や、既存の集会所施設の改修に係る経費が増大する。また、特定事業費の増加などで依然として厳しいものがあり、1・1%増は当然であると思われる。

10月に予定されている消費税の引き上げにより、地方消費税交付金2億5332万1千円のうち、社会保障分は1億1398万6千円となっており、おむね妥当である。

最後に、次の世代に負担を先送りしないために、効率的かつ効果的な行財政運営を徹底し、町民が安心して暮らせるよう期待し、賛成の討論とする。

反対

今野 章 議員

賛成

後藤 良郎 議員

国保加入者は、3307人。その内65歳以上の加入者が51%と高齢化している。国保税の軽減状況は、7割、5割、2割の軽減世帯の合計が1119世帯で加入世帯の58%が軽減世帯である。この軽減を受けた世帯でなお国保税の滞納が生まれるなど、担税能力を超える負担が滞納を生む大きな要因と考える。

また、国保加入者の一人当たり平均保険税は、協会けんぽの1・3倍、組合健保の1・7倍という水準で、医療保険の中で最も高く、この不公平を正すことが必要である。

国保に対する国の責任の後退と国保加入者の貧困化・高齢化という構造的な危機を打開するためには、国庫負担を増やす以外に道はなく、町長には、国保税の大幅引き下げの実現のため、医療保険間の不公平の是正と国庫負担の増額を国に強く求めていただきたい。

国民健康保険制度は都道府県単位数となり2年目を迎える。宮城県とより一層の協力、連携を図りながら、町のきめ細かな事業を推進していくものである。

この都道府県単位数により、本町では、納付金制度や税の算定方式と税率の変更により、国民健康保険税の負担が増加する世帯に対し、少しでも負担を軽減するため、毎年度ごとに財政調整基金を充てながら激変緩和に対応した措置を行うものである。

さらには、被保険者の健康を維持、増進させるために、第2期データヘルスケア計画に基づき、糖尿病重症化予防や生活習慣病予防などの保健事業を推進していくものである。本町のさらなる国保税の収納率の向上や、特定健診等の受診率の引き上げを期待し賛成の討論とする。

後期高齢者医療特別会計予算

反対

今野 章 議員

賛成

杉原 崇 議員

この医療制度は収入がなくても75歳以上の全員に保険料を課し、2年ごとに見直される保険料は75歳以上の人口と医療費が増加するほど上昇する。

高齢者の生活実態を無視し、能力を超えた負担を求める仕組みである。

また、負担が大きすぎるとして制度創設当初から低所得世帯を中心に激変緩和の特例措置や負担軽減措置等が講じられたが、平成29年度より軽減措置が段階的に廃止。平成31年度は、保険料の軽減特例措置で9割軽減が消費税増税と同時に廃止され7割軽減となる。

年金収入80万円以下は負担増となるもので、消費税増税は「社会保障のため」が口実に過ぎないことは明白である。物価上昇、医療や介護の負担増、年金削減、介護からの締め出しなど、高齢者が安心して生活できるように制度設計すべきである。

後期高齢者医療制度は少子高齢化が進む中、高齢者が安心して医療が受けられるように、老人医療費を被保険者である75歳以上の方と、65歳以上74歳以下で一定の障害がある方々も含め、現役世代と高齢者とが支え合うものとして創設されたものである。

制度施行から10年以上が経過し、現在は安定した運営がなされており、今後も高齢者が安心して医療が受けられる体制を堅持しなければならぬ。

町の歳入歳出の見込み経費は義務的経費がほとんどを占め、運用は全て宮城県後期高齢者医療広域連合に委ねられている。

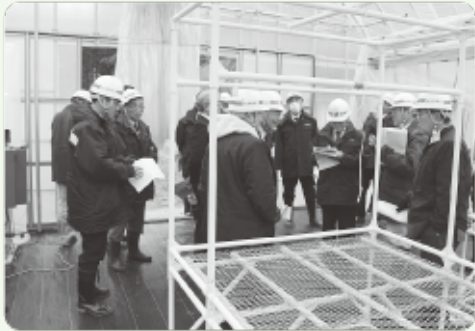
今後も町内高齢者の方々が安心して医療を受けられるよう、宮城県後期高齢者医療広域連合と緊密に連携を図りつつ、本制度が円滑に運営され、当局が今後とも被保険者の方々のために努めることを期待して、賛成討論とする。

予算審査特別委員会

現地調査

3月6日に7ヶ所の現地調査を行いました。

セッコク培養施設運営



観瀾亭の施設運営



どんぐり太陽光発電所建設工事見学



根廻磯崎線道路整備事業 (仙石線跨線橋部分)



その他

松くい虫対策(被害木)の状況
避難道路整備事業(霞ヶ浦枝線他)
農山漁村地域復興基盤総合整備事業(手樽)

平成31年 第1回 定例会 提出議案

(条例8件、補正予算8件、当初予算9件、議員提案1件)

議案第2号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

職員の時間外勤務命令の上限時間を定めるもの

議案第3号 松島町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について

引用条文の項ずれを改正するもの

議案第4号 財産の交換、譲与等に関する条例の一部改正について

消費税率及び地方消費税率の改正に伴い改正するもの

議案第5号 松島町町税条例の一部改正について

法人税割の税率、軽自動車税の見直しを行うもの

議案第6号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

政令の公布に伴い改正を行うもの

議案第7号 松島町下水道条例の一部改正について

消費税率及び地方消費税率の改正に伴い改正するもの

議案第8号 松島町水道事業給水条例の一部改正について

消費税率及び地方消費税率の改正に伴い改正するもの

議案第9号 松島町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について

国の規則の一部改正に伴い改正を行うもの

議案第10号 平成30年度一般会計補正予算(第5号)について

人件費並びに事務事業の精査、事業費の確定等による補正

議案第11号 平成30年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

事業費の精査による補正

議案第12号 平成30年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

後期高齢者医療広域連合納付金の補正

議案第13号 平成30年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)について

人件費並びに事業費の精査、返還金等の補正

議案第14号 平成30年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)について

事業費の精査による補正

議案第15号 平成30年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)について

事業費の精査及び事業収入の等の実績見込みに伴う補正

議案第16号 平成30年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第5号)について

事業費の精査による補正

議案第17号 平成30年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)について

事業費の精査による補正

議案第18号 平成31年度一般会計予算について

議案第19号 平成31年度松島町国民健康保険特別会計予算について

議案第20号 平成31年度松島町後期高齢者医療特別会計予算について

議案第21号 平成31年度松島町介護保険特別会計予算について

議案第22号 平成31年度松島町介護サービス事業特別会計予算について

議案第23号 平成31年度松島町観瀾亭等特別会計予算について

議案第24号 平成31年度松島町松島区外区有財産特別会計予算について

議案第25号 平成31年度松島町下水道事業特別会計予算について

議案第26号 平成31年度松島町水道事業会計予算について

議員提案第1号 宮城県に対し、小・中学校全学年で少人数学級実現等を要請することを求める意見書について

平成31年第1回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議決月日	採決結果	杉原 崇	櫻井 靖	緑山 市朗	赤間 幸夫	高橋 利典	片山 正弘	澁谷 秀夫	今野 章	太齋 雅一	後藤 良郎	菅野 良雄	高橋 幸彦	色川 晴夫	阿部 幸夫	賛 成	反 対	
議案第2号	3月4日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第4号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第5号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第7号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第8号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第18号	3月14日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第19号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第20号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第25号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第26号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1

【賛成全員】

議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日
議案第3号	3月4日	議案第11号	3月4日	議案第15号	3月4日	議案第22号	3月14日
議案第6号		議案第12号		議案第16号		議案第23号	
議案第9号		議案第13号		議案第17号		議案第24号	
議案第10号		議案第14号		議案第21号	3月14日	議員提案第1号	3月18日

平成31年 第1回 臨時会 提出議案

(条例1件)

議案第1号 松島町特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
学校教育への指導、助言を行う教育指導専門員の報
酬額を定めるもの

平成31年第1回松島町議会臨時会 議案採決結果

【賛成全員】

議案番号	議決月日
議案第1号	1月24日

議案 審議

職員の働き方改革を

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

質疑

櫻井靖議員 時間外勤務の上限を超えている職員への対策は。

総務課長 しっかり管理をするのが大事である。

振替休日を取得できる制度があるので、周知徹底をしていきたい。

赤間幸夫議員 振替休日が取れなかった場合、時間外手当で措置しているのか。

副町長 取れない状況の場合、当然時間外手当を支給する。

色川晴夫議員 残業によるストレスへの対応は。

総務課長 ストレスチェックを行い、高ストレス者に対しては産業医の方への面談と指導を受けさせている。

今野章議員 役場の業務量が増えている中で、職員増の考えは。

副町長 財政的な面から、事務事業の見直しに取り組んでいく。

討論

反対 **今野章議員**

過労死ラインと言われる80時間を超えて長時間労働をさせることができ、内容を減らす方向では、労働環境の改善に、疑問を持たざるを得ず、反対である。

賛成 **菅野良雄議員**

人事院の規則に伴う改正であり、運用に当たっては、職員組合と話し合いながら適正な運用を図っていたきたたく賛成とする。

賛成多数・可決

議案審議

松島町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正

質疑

今野章議員 大学課程の履修や国際貢献活動が自己啓発休業の前提だが、適用の範囲が広がらないのか。

副町長 想定が難しいが、基本的には大学が主になると思う。

賛成全員・可決

財産の交換、譲与等に関する条例の一部改正

質疑

今野章議員 災害公営住宅の屋根に設置してある太陽光発電の目的外使用料における消費税改正に伴う条例の改正であるが、その他の使用料の改正は。

副町長 財政状況を考え、今後の検討課題としていく。

討論

反対 **今野章議員**

消費税反対の立場から、本条例改正には反対である。

賛成多数・可決



災害公営住宅

松島町町税条例の一部改正

質疑

今野章議員 軽自動車税の改正は、所得の低い人たちの税金の負担が大きくなるのではないのか。
財務課長 車両本体価格は上がるかもしれないが、税金は引き下げになるだろう。

赤間幸夫議員 軽自動車取得税の環境性能割の賦課徴収についての事務取り扱いの流れは。

財務課長 取得税の支払いは、陸運局にて、現金ではなく県証紙を使用し、申請手続をする。

討論

反対 **今野章議員**

法人税割の税率の見直しは消費税を地方財政の主財源にしようとする考えであり、軽自動車税は環境性能割が入り、燃費の悪い車は税負担が重くなるため、不公平であり、反対である。

賛成多数・可決

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

質疑

色川晴夫議員 公営住宅、災害公営住宅の滞納者への対応は。
建設課長 前年度までの分については分割払いでの協議を進め、本年度分については確実に払ってもらおうよう努力をしている。

賛成全員・可決

松島町下水道条例の一部改正

討論

反対 **今野章議員**

逆進性の強い消費税増税はやめ、抜本的な税制の見直しをすべきであり、反対である。

賛成 **澁谷秀夫議員**

消費税率及び地方消費税率が10%に引き上げられることによる、所要の改正であるため、賛成とすべきものである。

松島町水道事業給水条例の一部改正

討論

反対 **今野章議員**

逆進性の強い消費税増税はやめ、抜本的な税制の見直しをすべきであり、反対である。

賛成 **澁谷秀夫議員**

消費税率及び地方消費税率が10%に引き上げられることによる、所要の改正であるため、賛成とすべきものである。

平成31年 第1回
臨時会
1月24日(木)

学校教育への指導、助言を行う 教育指導専門員を配置

松島町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

質疑

今野章議員 専門員の募集方法は。
教育長 松島町及び近隣に住んでいる方を想定しており、個別に私が教育委員会に推薦するという形で識見の高い方を選んでいきたい。

菅野良雄議員 専門員の任期は1年で再任用ができるかあるが、その時期にスムーズに任用できるのか。

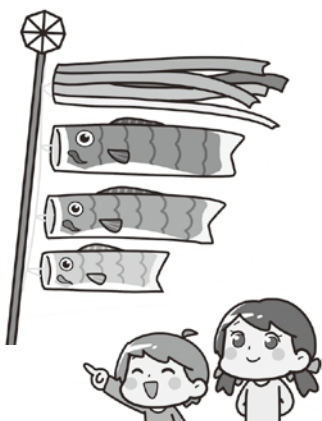
教育長 責任を持って、教育委員会ですその方の人となり判断して、次年度に再任用するかしないかを検討していきたい。

片山正弘議員 専門員の職務内容とは。
教育次長 一つの例として、教員の指導力向上のために授業づくりに対する助言等である。

後藤良郎議員 規則の中に必要な事項は教育長が別に定めるとあるが、どのようなものを想定しているのか。
教育次長 服務規程、職務内容、検証等を明記したい。

高橋利典議員 教育指導には連携教育も関連してくるのか。
教育次長 連携も視野に入れて。幼稚園から中学校まで12年教育の中で、指導にあたっていただきたいと考えている。

賛成全員・可決



災害・復興各種工事 早期完成を

平成30年度

松島町各種会計補正予算

一般会計補正予算
(第5号)

質疑

杉原崇議員 エアコンの
アレルギー対策は。

町長 風邪をひきやすくなるといわれているので、フィルターの清掃、空調機器の点検等を定期的に行っていききたい。

菅野良雄議員 霞ヶ浦避難路の工事が遅れているが見通しは。

建設課長 JRや地権者等の協議が調いつつあるので、平成31年度工事を実施していきたい。

後藤良郎議員 施設型給付費における私立保育所の内訳は。

町民福祉課長 県内が3カ所、県外が3カ所である。

渋谷秀夫議員 図書室にエアコンを設置しないのか。

教育長 長時間、図書室で活動するというのは考えられないので設置しない。

赤間幸夫議員 農地中間管理機構を活用した地域の担い手は。

産業観光課長 2万平方メートルを超えた方が1名で、それ以下の方が1名の合計2名でした。

色川晴夫議員 ふるさと納税が増えているが要因は。

財務課長 大手ポータルサイトのふるさとチョイスに登録したことによる。

高橋辛彦議員 松島大橋の工事が遅れているようだが完成見込みは。
建設課長 平成33年頃になると思われる。

議案審議

片山正弘議員 農道上下堤竹谷線の協定内容は。

建設課長 土地は東松島市であるが、道路の管理は松島で行なうという協定を結んでいる。
賛成全員・可決

下水道事業特別会計
補正予算(第5号)

質疑

菅野良雄議員 下水道事業関係の工事の完成はいつ頃か。

水道事業所長 西柳雨水ポンプ場が平成32年度末、それ以外のポンプ場及び管渠については、平成31年度中に完成予定である。
賛成全員・可決

水道事業会計補正予算(第3号)

質疑

菅野良雄議員 二子屋浄水場建設工事の進捗率は。
水道事業所長 40%台である。

賛成全員・可決



霞ヶ浦地区避難道路整備の状況

町政Q&A

一般質問 ここが聞きたい！ 8人の議員が 15件について質問

杉原 崇 議員 (22ページ)	◆ 中学校の部活動の方針について
櫻井 靖 議員 (23ページ)	◆ スポーツによる子どもたちの怪我を防止する対策は ◆ 多文化共生をどう考えているか ◆ 「世界で最も美しい湾クラブ」は怎么样了のか
今野 章 議員 (24ページ)	◆ 子育て支援、均等割の減額を ◆ 松枯れ対策は充分か
後藤良郎 議員 (25ページ)	◆ さらなる、ふるさと納税の推進を ◆ 乳がん手術を受けた方用バスタイムカバー（入浴着）の周知を
高橋利典 議員 (26ページ)	◆ 新築認定こども園をCLT(積層材・集成材)活用で ◆ 町長選挙への立候補の意向を伺う
菅野良雄 議員 (27ページ)	◆ 公民館活動の拠点は ◆ 浄水施設の耐震化率は ◆ 消防団員の安全確保を
澁谷秀夫 議員 (28ページ)	◆ 文化財の保存と活用状況は
色川晴夫 議員 (29ページ)	◆ 関係人口の増加を目指してはいかがか

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること

問 中学校の部活動の方針について

答 方針作成に関し、PTA・保護者・先生方の考えを聞き、まとめていく事に欠けていた。今後、各方面と協議をし、検討していく。



すぎはら 杉原 たくし 議員



ポスター制作(美術部)

問 現在の部活動の加入・活動状況は。

教育長 運動部が11部、文化部が4部の合計15種類の部活動があり、生徒は原則いずれかの部活動に所属している。多くの部は週当たり4〜5日の活動を行っている。

問 「松島町立中学校に係る部活動の方針」策定にあたり、生徒・保護者・教員への聞き取り調査は。

教育長 今回の策定に当たり、事前に生徒、保護者への聞き取り調査は行っていない。校長の意見聴取を行い、12月の教育

委員会定例会において可決され、策定をした。策定後、1月にホームページで公表、保護者へは文書等で周知を図った。

問 活動計画と活動実績の作成・保護者会の開催は、教職員の長時間労働は正ではなく、時間外勤務に繋がらないのか。

教育長 部活動は学校管理下で行われるため、安全配慮義務がある。学校が活動計画を作成し、保護者に理解と協力を得るために説明することは必要である。

教育次長 部活動の保護者会等については、正規の勤務時間を充て、他の日の勤務時間を減らして割振りを行うよう配慮していく。

問 週2日以上以上の休養日の対応策は。

教育長 運動部の生徒については家族と過ごしたり、読書などの趣味、余暇の時間として有意義に過ごす。文化部の生徒については、加えてスポーツをし

一般質問

たり、観戦をするなどの活動を勧めたい。

問 外部指導員を1名、部活動指導員を2名申請しているとの事だが、スポーツクラブとの連携は。

教育長 スポーツクラブとは適切な休養日がとれるよう、話し合いを行ない、この方針を理解していただくよう努力していく。

問 保護者や地域の方が運営協力できる、部活動ボランティアバンクの設置を。

教育長 教員の負担軽減という観点からも多くの地域の方々に部活動に協力していただくことは今後一層必要かと考えている。部活動指導員の任用や全ての小中学校で来年4月に学校運営協議会を立ち上げることから、その効果を検証しながら、部活動ボランティアバンクも含め、どのような仕組みが良いのかを判断していく。

問 取組の検証結果の公表や検証後の対応は。

教育長 検証結果と必要な改善について保護者に学校だよりや懇談会等で示したい。

教育次長 保護者や生徒自身の意見等のアンケート結果で上がってきたものを課題にし、場合によっては次年度の学校長が立てる活動方針に反映させたり、必要があれば一部改正ということも考えている。

問 一方的な通知で、納得していない生徒や保護者がたくさんいる状況では、協力は得られない。今回の方針策定に関する教育長の考えは。

教育長 長時間労働による先生方の働き方も考えなければいけない。決して保護者や子供達をないがしろにして、指示を出したということはない。そう捉えられているならば、理解をしてもらえないように努力していく。



勝利の歓喜(サッカー部)

問 方針に対する理解不足の中で、今後の対応は。

町長 PTA全体の考え方、各部活動を行っている子供たちの保護者の皆様の考え方、それから学校の先生方の考え方、それを総括的に話を聞き、まとめていくのが教育委員会だと思ふ。そういった意味では、少し欠けていた。4月にPTA総会があるので、良い話し合いができるようにしたい。体育協会や各スポーツ団体、指導者の方々と、部活のかかり合いなど、子供達が一番良い方向に行くよう、もう一度協議を行ない、検討していく。



さくら い やすし
櫻 井 靖 議員

問

スポーツによる子どもたちの怪我を防止する対策は

答

発達段階に応じた練習を行うよう継続し、働きかけていく

問 子供たちは成長過程であり、成長の過程には個人差がある。成長に合わせた指導方法があると思うが、過度な練習、トレーニングを行っていることはないか。

問 もう少し練習をしてほしいという意見は確かにあると思うが、怪我等を防止するためにも休養日の大切さを理解してもらえるよう周知をはかるべきと考えるがどうか。

教育長 過度な練習やトレーニングを行っているわけではないが、子供の様子をよく観察しながら発達段階に応じた練習を行うよう継続し、働きかけていく。

教育長 保護者に対する周知が足りなかったことを反省し、今後はご理解等いただくとともに懇切丁寧に対応していきたい。

問 生涯を通じてスポーツに親しむこと、そして健やかな体、健やかな精神を培うことが、部活、スポ少の狙いだと思うがどうか。

教育長 決して部活動を勝利至上主義とか、燃え尽き症候群にならないように、理想的な部活動のあり方を、保護者や学校の先生、スポ少などと協議していきたい。



松島日本語教室で学ばれている皆さん

問 多文化共生をどう考えているか

答 外国人労働者の受け入れはある程度の効果がある

問 在留外国人が増えた場合、言葉の違い、文化の違いによるトラブルが増加すると予想される。対応できる窓口等の考えは。

町長 対応できる窓口等を設置することは有効的であると思うが、今後、他市町村の動向を注視しつつ情報を共有し、また宮城県などから有効な情報を収集しながら町としての方針を検討していきたい。

問 松島には日本語教室がある。相互協力を考えてはどうか。

副町長 今後話し合いの場を検討していく。

問 人口減少対策、担い手不足の解消のひとつとして、観光や農業、漁業の働き手として積極的に外国人を取り入れる考えはあるか。

町長 外国人労働者の受け入れはある程度効果があると期待しているが、外国人労働者を取り巻く課題の整理や国からの支

援が把握できていない。国や他自治体との動向を注視して検討していく。

問 「世界で最も美しい湾クラブ」はどのようになっているのか

答 海外に行かずして海外の皆様方へ松島湾を発信できる好機

問 今年10月、富山県で行われる「世界で最も美しい湾クラブ」の総会を利用して松島町はどんな事業を行うのか。

産業観光課長 世界会議の場で世界各国の加盟湾に対し、松島湾の環境保全や観光振興に関する取り組み等について発信することに加え、多言語パンフレットやノベルティの配布、地場産品等の紹介などを行う予定であり、海外に行かずして海外の方へ松島湾を発信できる好機と考えている。

問 子育て支援、均等割の減額を

答 特定の世帯への還元でなく、加入者全体に還元させる

町長 国保は年齢構造が高く、反面、医療水準も高いなど構造的な問題が裏づけされている。昨年、国保の都道府県単位化を始めたが、国の動向等を注視し見守っていきたい。

問 国民皆保険で国保には27%、協会けんぽ29%、組合健保23%、共済組合など7%、後期高齢者医療12%の加入である。国保加入者の保険料負担は協会けんぽの1.3倍、組合健保の1.7倍で非常に重く、高齢化や低所得化など、構造的な問題の解決へ一層の公費負担が必要である。

町長には国への一層の働きかけをお願いしたいかどうか。

町民福祉課長 調整交付金は100万円で、18歳までの子どもがいる世帯及び人数は120世帯、197名である。均等割3割減免の場合175万円の費用である。今回、試算の結果、特別調整交付金の一部の額より町負担分が上回るため、高齢化に伴う医療費負担などを勘案し、特定の世帯への還元ではなく、加入者全体に還元させるべきと判断している。

問 仙台市では、18歳までの子供のいる世帯の国保料の均等割額を3割減額する制度を始めている。本町で同様の施策を実施する場合、子どもの数に着目した調整交付金の額、18歳までの子どもがいる世帯と人数、実施にかかる費用はいくらか。

町長 松くい虫の防除事業は、予防が主で成果が見えづらい事業である。被害拡大防止に必要な事業であり、継続的な取り組みが必要と考えている。

産業観光課長 平成29年度実績で伐倒駆除1050本、薬剤散布74ha、樹幹注入90本で総費用は約3375万円。植樹は平成30年度に100本実施している。

問 松枯れ対策としての松の伐倒、薬剤散布、樹幹注入、抵抗性松の植樹など、現状とその効果をどう評価しているか。

問 元東邦大学教授・大森禎子氏によれば、大気汚染物質による土壌の酸性化が松枯れやナラ枯れに大きく関与しており、酸性化した土壌を中和すれば樹勢の回復につながるという。中和剤として木炭や竹炭が有用との事であり、カキ養殖筏の廃棄処分として炭化することも考えられるかどうか。

町長 カキ筏の塩分の問題や費用対効果で高くなるのではないかと。また、カキ殻を使った土壌改良剤で松くい虫を防ごうと研究開発や商品化を目指している企業もあり、樹勢回復へ今後いろいろ検討したい。



伐倒駆除された松の木

答

事業継続と樹勢回復の検討も

問

松枯れ対策は充分か



あきらの 今野 章 議員



ごとう よしろう
後藤 良郎 議員

問 さらなる、ふるさと納税の推進を

答 重要な財源と考えている



ふるさと納税パンフレット

問 平成20年度から29年度までの寄附金の状況は。

財務課長 合計で約3000件、4500万円の寄附金である。

問 平成30年度は、急激な増額になっているが要因は。

財務課長 ふるさと納税の大手ポータルサイトに「ふるさとチョイス」に登録したことや返礼品を増やしたことが要因である。

問 会派視察で山梨県富士吉田市を訪問。ここでは「ふるさと納税推進室」を新設。このことから、ふるさと納税に対し、積極的な取り組みを行い、かなり成果をあげている。本町でも設置すべきと考えるがどうか。

町長 30年度、増額になっているのは各課が横断的にアイデアを出しているのが、この結果につながっていると思う。松島に行くと色々な体験をしたいという要望があれば、今後は体験をするプログラムなどもアイデアとして考えていく必要があると思われる。

ふるさと納税に特化した課や班を新設しての取り組みはできないが、決められた中でしっかり精査をして成果を出していきたい。

問

乳がん手術を受けた方用
バスタイムカバー（入浴着）の周知を

答

町として側面からサポートしていきたい

問 条例では、浴槽内への手ぬぐい類（タオル・スポンジ等）の持ち込みなどは浴槽内を著しく不潔にするということで、入浴を禁止している。そのため、乳がん等の患者はタオルで傷跡を隠して浴槽に入ることができずに温泉の大浴場に入りづらい思いをしている。

町長 正直なところ認識はなかった。

問 この取り組みは、乳がん及びその患者に対する理解や乳がん受診率の向上を促進するものであり、また新たな観光ニーズを掘り起こし、温泉地の活性化が図られ女性に

しかしながら、体の傷跡をカバーするために着用するバスタイムカバー（入浴着）が作られ国で

町長 町内各施設等に確認したところ、今後、松島の観光と女性の方々に気兼ねなく温泉地を訪れて施設を利用していただきながらイメージアップを図っていきたい旨、話をされていた。町も協力していく。

問 イメージポスターやパンフレット等を作成し、広く周知すべきと考えるがどうか。

町長 あるホテルでは県や、同業の旅館等に問い合わせをしており、理解が進んでいると思われる。町として側面からサポートしていきたい。



「バスタイムカバー」は全国の温泉、温浴施設で着用が認められている唯一の入浴着です。

バスタイムカバー

問 新設認定こども園をCLT (積層材・集成材) 活用で

答 施工方法を示し議論していきたい



たか はし とし のり 議員
高橋利典

問 平成32年度建設、平成33年4月開所を目指す新築認定こども園をCLTを活用した施工方法で建設してはどうか。

副町長 県内でも様々な施設で活用されてきており、環境面からも注目をされていることを認識している。

問 木育は、知育・徳育・体育の3つの側面を効果的に育むとして多くの注目を集めている。建設に当たっての国・県の補助メニューはあるのか。

町民福祉課長 幼稚園部門と保育所部門それぞれ交付金があり、国が2分の1、市町村が4分の1となっている。なお、保育所部門に限るが、市町村が策定する子育てプランを絡めて国へ要望すると、国の補助が2分の1

から3分の2に高上げされる。

問 林野庁の支援体制もあると聞かすが、これらも活用して建設してはどうか。

町民福祉課長 平成27年に宮城県CLT等普及推進協議会が設立されており、民間公共の施工依頼の相談等を行っている。聞いている。

町長 確かにCLTの活用は、子供たちにとって環境に優しい施工であると考えられる。今後、建設する施設に関して、コスト面や補助メニュー等いろいろな施工方法を十二分に検討し、議会に示して議論していきたい。



CLTパネル工法の認定こども園

一般質問

問

町長選挙への立候補の意向を伺う

答

変革の時、施策をより一層具現化するため出馬の意向を固めた

問 反省点等があれば伺う。

町長 東北放射光施設誘致事業において、町への誘致が叶わなかったことである。

問 立候補表明での決意を伺う。

町長 ①5つの基本政策について更なる具体化に向け取り組みを一層図っていく。②少子高齢化の中で定住対策として、土地利用や空き家対策等について取り組みを一層推進していく。③観光事業において松島海岸駅前一帯整備を図っていく。④農林水産業や商工業などの多様な産業間での横断的かつ総合的な施策を展開していく。⑤児童福祉において、幼保連携も含めた施設整備を早急に進めていく。

問題は山積しており変革の時を迎えていると思っております。様々な事に取り組みでいく決意である。



議会と町がともに行政運営の推進を



議員 良雄 野 菅

問 公民館活動の拠点は

答 既存施設で調整したい

問 公民館分館規則の幡谷分館とはどこを指しているのか。

町長 北松島公会堂の代替施設は、公共施設等総合管理計画に基づき見直しを図っている。新たな施設の建設は考えていないが、既存施設の利用等について調整したい。

問 分館のカラオケ機器等、備品の置き場がなくなっている。

総務課長 カラオケ機器を含めた備品等は、改善センター隣の町所有のプレハブのほか、品井沼干拓資料館に保管されており、保管場所が確保されていると、区会及び分館の方から聞いている。また、北松島公会堂に展示されていた写真、備品等は、区会や分館、老人会がそれぞれ搬出している。



品井沼農村環境改善センター

歴代分館長の写真やその他の表彰状等についても、全て分館において額縁に入ったまま搬出していると聞いている。写真等の一部については、改善センター隣の町所有のプレハブに保管されていることを確認している。

問 環境改善センターを幡谷区に管理させる方法もあるのではないかと。指定管理にする考えはないか。

町長 障害者の方が働く場としても提供していることもある。今後検討する必要がある。

問 くぬぎ台に集会施設がないのも課題である。

町長 くぬぎ台はPTA役員も多いようなので、若い人たちの意見を聞きながら活かしていきたい。

問 浄水施設の耐震化率は

答 二子屋浄水場・初原浄水場はゼロ

問 県が水道施設等の運営権を民間委託するが、本町に影響はないのか。

町長 どの程度反映されるか示されていない。

問 浄水施設の耐震化率ほどの程度か。

水道事業所長 基幹管路は18%。二子屋浄水場と初原浄水場はゼロ。配水池は海岸と桜渡戸の50%である。

問 今後の耐震化計画はどうなる。

水道事業所長 二子屋浄水場は耐震化を進めている。左坂配水池の基本設計を平成31年度から進める。

問 消防団員の安全確保を

答 撤退ルールで位置づけていく

問 災害現場に出場した団員の退避命令は、何の基準に則って出すのか。

町長 町消防団員安全管理マニュアル撤退ルールで位置づけている。

問 団員が理解するように説明することを望む。退避する際の伝達方法はいかに。

危機管理監 携帯電話を主に使うが、マニュアル上ではMCAの無線機等で位置づけている。



問 文化財の保存と活用状況は

答 適切な保存を行い、活用については民間施設との連携も検討していく



お 秀 夫 議員
し 谷 瀬

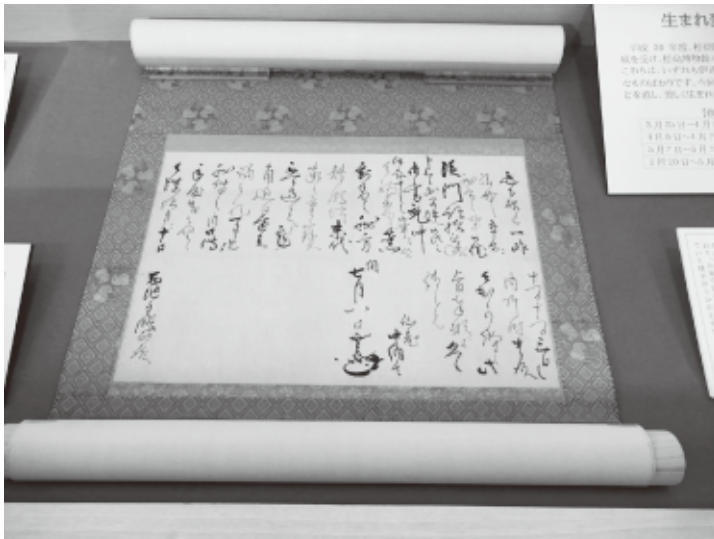
問 文化財の指定は、どんな基準のもとで、どんな手順で行われているのか、また、見直しはあるのか。

教育課長 文化財の指定は、松島町文化財指定基準に基づいて行われ、町の文化財保護委員会に諮問した上で決定している。見直しも行われており、これまでも天然記念物の分野で倒木の危険性が高まったと判断し、文化財保護委員の意見を聞き指定解除した経緯もある。

問 西の浜貝塚出土遺物、観瀾亭・松島博物館収蔵品、観月楼所蔵文書、磯崎緑松会所蔵民具、分館長会へ調査依頼した地域文化遺産などの中に、注目すべきものは発見されていないのか。

教育課長 指摘のあった文化遺産の中には、既に町指定文化財となっているものもあり、歴史的価値が高く指定に値するものも少なくない。その中においても、松島博物館所蔵の伊達政宗書状などの4点については、この2月に修復を終え、3月25日から役場1階の町民スペースにて展示を行う予定である。分館長会にご協力を頂き収集した地域の文化遺産については、健康長寿課作成の松島ウ

オーキングマップの基礎資料となっており、文化財巡りの中で活用されている。なお、平成31年4月1日より施行となる改正文化財保護法でも、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域総がかりでその継承に取り組んでいくことが必要と示されており、本町においても町内に所在する文化財の意義や価値の周知に努め、文化財の保存と活用を考えている。



伊達政宗公書状

問 文化財の保存を万全なものとし、町民等への周知を図るため、適切な保存や展示場所の設置が望まれているが。

教育課長 文化財の適切な保存と有効活用のために、新しい施設の必要性は認識している。新たな施設の建設には、大きな費用がかかる事が予想され、現時点では難しい面もあり、展示活用においては、民間施設との連携も含め、工夫を重ねていきたい。



三居山地区にある諏訪古墳



お かわ はる いろ
色 川 晴 夫 議員

問 関係人口の増加を目指しては いかがか

答 取り組んでいる事業はあるがさらに 検討していく

問 関係人口とは、地域に関わってくれる人口で、その町のファンになった人が何らかの形で町に関わってもらいたいということである。今後、人口減少が加速する中で生まれた言葉が関係人口である。

企画調整課長 松島町の人口は、平成30年4月1日現在で1万4366人で、平成32年の目標値は1万4200人であることから、現時点では想定内で推移している。しかし、今後人口減少率が高まることを見込まれることから、定住人口の増加施策で町の魅力を発信し、移住候補地として選択してもらえるよう取り組む。

そこで、長期総合計画に記している将来の定住人口の減少率は、当時想定したもの現状はどのようになっているのか。



松島かき祭り

問 総務省は平成29年3月移住交流検討会の中間報告を受け、30年4月「関係人口創出事業」モデル事業団体として、全国27団体が採択された。昨年3月七ヶ浜町長が観光振興で、交流人口と定住人口の間である関係人口という考えを述べた。このことを踏まえて、松島がもっと愛される町を目指すひとつの方法が関係人口ではないかと思う。そこで、国または県から関係人口について要請があったのか。

企画調整課長 総務省からの依頼は、町に1件あった。県から直接の依頼はきていない。このモデル事業は、地域に関わりを持つ方々が地域づくりに関わる機会を提供したり、松島の方々が場を提供したり、地域の課題解決に意欲を持つ団体を支

援する事業である。県内で取り組んでいる自治体はない。

問 関係人口創出事業について、実現に向けて取り組む考えはないか。

企画調整課長 創出事業として、松島ファンクラブ、世界で最も美しい湾クラブの活動、ふるさと納税などが関係人口創出に寄与すると認識している。今後、実施しているモデル事業の成果を踏まえて取り組みを検討していく。

総務経済常任委員会

所管事務調査中間報告

◎調査の概要

本町では、少子高齢化による人口の減少が著しい。この現象は全国的な現象となっており、どの自治体においても「定住化」対策を最重要課題として、ハード、ソフト両面で、地域に根ざした様々な取り組みが行われている。

◎視察・研修

富山県南砺市
・「南砺で暮らしません課」の組織運営と施策への取り組みについて
富山県中新川郡舟橋村
・都市計画と定住化促進対策について
・「総合戦略」と「人口ビジョン」について

◎まとめ

当委員会では、本町の定住化促進について、担当課から施策と定住化に關し説明を求めて現況の把握を図り、県が行っている「みやぎ出前講座」を活用し、都市計画課の担当メニュー「暮らしやすい仙台都市圏を指した都市・交通政策」について説明を受け、県の都市計画に係る政策概要等の把握に努めた。

また、大幅な人口増や県内外からの移住者の増について成果を上げていく自治体を訪問し、施策内容やその背景等について視察・研修を行った。

当委員会の閉会中における所管事務調査の期限は、平成31年3月定例会までとしていたが、平成31年1月24日の全員協議会で「品井沼地区における地区計画の都市計画決定に向けた取り組みについて」の経過報告を受け、「定住化促進対策」との関連についてさらなる調査が必要と判断し、平成31年9月定例会まで調査期間を延長することを決定したものである。



品井沼駅前

品井沼地区における地区計画については、これまで宮城県や関係機関との協議を継続して実施してきており、平成31年度中における都市計画決定が見込まれている。都市計画決定後、計画区域内において道路拡幅工事が3～5年の期間で実施される予定とのことである。

以上を踏まえ、当委員会の調査事項である「定住化促進対策」については様々なアプローチがあり、9月定例会までの期間の中で、継続して調査を進めていくこととした。

全員協議会

教育民生常任委員会の意見で「認定こども園」へ方針転換

◎報告事項
平成29年に策定された保育所再編計画では、新設1カ所、高城保育所改修を予定していたが、教育民生常任委員会より「高城保育所改修などその場しのぎの再編ではなく、認定こども園を視野に入れ幼稚園も含めた再編をするように」との意見書が出されたことから、庁内検討委員会が設置され、次のことが決定された。

「認定こども園」へ方針転換

全員協議会が平成31年1月24日行われ、「保育所・幼稚園再編に係る現在の状況について」町当局より、議会に対して報告がなされた。

●新設2カ所の認定こども園のうち1カ所は社会福祉協議会で運営してもらえないか協議をしていく。残り1カ所は民間の参入を目指していく。(最終的には公立は第五幼稚園(認定こども園)のみとなる。)

●新設2カ所の認定こども園に、第五幼稚園も認定こども園とし、最終的に各学区1カ所、計3カ所の認定こども園とする。(ただし、高城保育所は当面残す。)

今後の流れは、1カ所については、認定こども園建設準備委員会を平成30年度に立ち上げ、平成31年度実施設計、平成32年度建設、平成33年4月開園を目指す。もう1カ所については、公募等の状況により認定こども園に移行していく。

また、同全員協議会では、「品井沼地区における地区計画の都市計画決定に向けた取り組みについて」も報告があった。



一部事務組合議会報告

宮城県後期高齢者医療広域連合議会

平成31年2月8日（金）平成31年第1回宮城県後期高齢者医療広域連合議会が開催された。

議案の審査状況

平成31年度一般会計並びに特別会計予算

一般会計 歳入歳出総額
6億7813万1千円
前年度比 8516万9千円減
特別会計 歳入歳出総額
2496億9385万8千円
前年度比 24億2985万8千円増

他、条例の制定1件、条例の一部改正3件、補正予算1件、議員提案1件が原案の通り可決された。

緑山 市朗議員

宮城東部衛生処理組合議会

平成30年12月21日（金）平成30年第4回宮城東部衛生処理組合議会が開催された。

行政報告

ごみ搬入状況

可燃・粗大ごみの総搬入量
3万3885トン
前年同月比較 285トン減
内、松島町分4462トン
前年同月比較 24トン減
（平成30年4月から11月まで）

焼却灰、排出ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出処理水、地下水、各施設敷地空間放射線量

測定結果

ヨウ素131 不検出
その他 基準以内もしくは不検出

議案の審査状況

条例の一部改正1件、補正予算1件が原案の通り賛成全員で可決された。

今野 章議員
櫻井 靖議員

塩釜地区消防事務組合議会

平成30年12月26日（水）平成30年第4回塩釜地区消防事務組合議会が開催された。

行政報告

塩釜地区消防事務組合管内

火災発生件数 35件
救急出動件数 8326件
（平成30年1月から11月まで）
要介護認定審査判定状況
審査会開催数 173回

審査認定数 5165件
障害者支援区分審査判定状況

審査会開催数 25回
審査認定数 256件

（平成30年4月から11月まで）
塩釜地区環境センター業務実績

し尿及び浄化槽汚泥搬入量
6076トン

（平成30年4月から11月まで）

塩竈斎場利用実績 1417件
（平成30年4月から11月まで）

議案の審査状況

専決処分1件が賛成全員で承認され、条例の一部改正2件、各種会計補正予算4件、工事請負契約の締結1件が原案の通り賛成全員で可決された。

片山 正弘議員
後藤 良郎議員

議会活動

◆主な活動内容

12月19日 県知事と町村議会正副議長との意見交換会

平成31年

1月11日 町民新年会

1月12日 松島町消防団出初式

1月13日 第70回松島町成人式

1月17日 二市三町議長団連絡協議会議員研修会

1月23日 第65回文化財防火デー警防演習

1月25日 町村議会議員講座

1月31日 塩釜地区消防事務組合火葬場建設事業土木造成工事

2月3日 地鎮祭・着工式

2月14日 第41回松島かき祭り

2月14日 宮城県町村議会議長会定期総会

2月14日 宮城黒川地方町村議会議長会定期総会

2月14日 宮城黒川地方町村議会議長会定期総会

その他
各常任委員会、
議会運営委員会
会を開催した。



消防団出初式

町民の声



ことう ゆうこ
後藤 裕子さん
(幡谷)

この地域が笑顔で あるために

川沿いの桜並木が満開になると、大勢の花見客で賑わう上幡谷に住んで37年。
すっかり田舎の生活が身について地域愛も人一倍になってきた頃、震災に遭遇しました。人は支え合って生きる、活かされる事が凄く大事なことでと実感し、6年前にコミュニティセッション茶会「とるとるカフェ」を立ち上げました。世代間交流の中で同じ地域に住む人たちの心の絆が深まっています。

「この地域が笑顔でありたい！ この地域が元

気でありたい！ この温かさを若い世代に継承したい！」

桜梅桃李のごとく、一人一人の良さが活かされる中で自分のできる地域づくりができたと思います。

コンビニも食堂もない、そして高齢化の中で移動手段など課題も多い北部地区ですが、こども松島です。

住む人が幸福感を感じるように自分達の努力は勿論のこと、ぜひ議会の皆様のお力添えもお願いいたします。

表紙を飾られた皆さんからのメッセージ

松島中学校サッカー部 部長 佐々木 楓太

私達、松島中学校サッカー部は、新人戦で県2位になることができ、誇らしくもあり、うれしかったのですが、悔しい気持ちもありました。

そこから、なぜ優勝できなかったのかを真剣に話し合い、導き出した答えをもとに練習し、改善しようとしています。しかし、それは私達だけの力でできることではなく、先生やコーチ、親など様々な人のサポートがあったからこそで、本当に感謝しています。

本番の中総体も間近にせまってきました。今は、チーム全員が必死になつて頑張っています。あとは自分達がやってきたことを信じて戦うだけです。

今度こそは、先輩達が成し遂げられなかった高い目標の県大会優勝。そのために、みんなが協力し合い、チーム全員で優勝を目指したいと思います。

次回6月の定例会は

6月14日

開催予定です。

ぜひ、傍聴においで下さい。



編集後記

3月定例会は3月1日から18日間の会期で開催されました。事業確定による補正予算や、条例改正などが審議されました。また、予算審査特別委員会では、平成31年度予算について活発な質疑が行われました。

1月、2月の寒さのあと、3月に入り彼岸を境に暖かくなり、4月の入学式シーズンを終えると、次は、5月1日より「平成」から「令和」へと元号が変わります。

新元号「令和」のもと、9月1日には松島町長選挙が予定されています。

議員として、少子化対策、産業の活性化など町の発展につながる政策の推進に努めていきたいと思えます。

(後藤 良郎)
広報広聴常任委員会
広報分科会

会長	櫻井	靖
委員	杉原	崇
委員	緑山	市朗
委員	澁谷	秀夫
委員	大齋	雅一
委員	後藤	良郎
委員	色川	晴夫